

年頭のご挨拶

公益財団法人 金融情報システムセンター
理事長 稲垣 光隆



令和4年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

わが国の金融情報システムを取り巻く環境は、急速な変化を続けています。金融業務の高度化や多様化に伴い、金融機関の情報システムはますます複雑化しておりますが、業務遂行上必要不可欠なインフラであるとの認識に立ち、そのあり方について不断の検討と見直しを行うことが、金融機関等にとっての重要な経営課題となっております。また、新型コロナウイルス感染症の流行がなお続く中で、感染防止のための対応を行うと同時に、IT技術も活用しながら、如何に事業を継続していくかが課題となっております。

当センターは昭和59年の設立以来、金融機関等の情報システムに関する諸問題についての調査研究、問題解決に向けた提言、自主基準である安全対策基準等の策定といった活動を通じて、金融情報システムの発展に寄与して参りました。

最近の取組みとしては、サイバーセキュリティワークショップをオンラインで開催して意見交換・情報共有を図っているほか、ホームページ上でサイバーインシデント情報を発信しております。昨年12月には、テレワークの普及や口座振替による不正出金事案の発生を踏まえて内容を改訂した『金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書（第9版）令和3年12月版』を発刊いたしました。今後につきましても、サイバーセキュリティ、業務継続・リスク管理、FinTech・新技術、ITガバナンス・IT投資等について調査・研究を行い、会員の皆様にはタイムリーな情報を還元していく予定です。

当センターに課せられる役割も引き続き重要性を増してくることと、役職員一同覚悟を新たにし、環境変化に的確に対応した情報の提供、提言内容の一層の充実に努め、会員各位の皆様のご期待に応えてまいり所存ですので、引き続き変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

